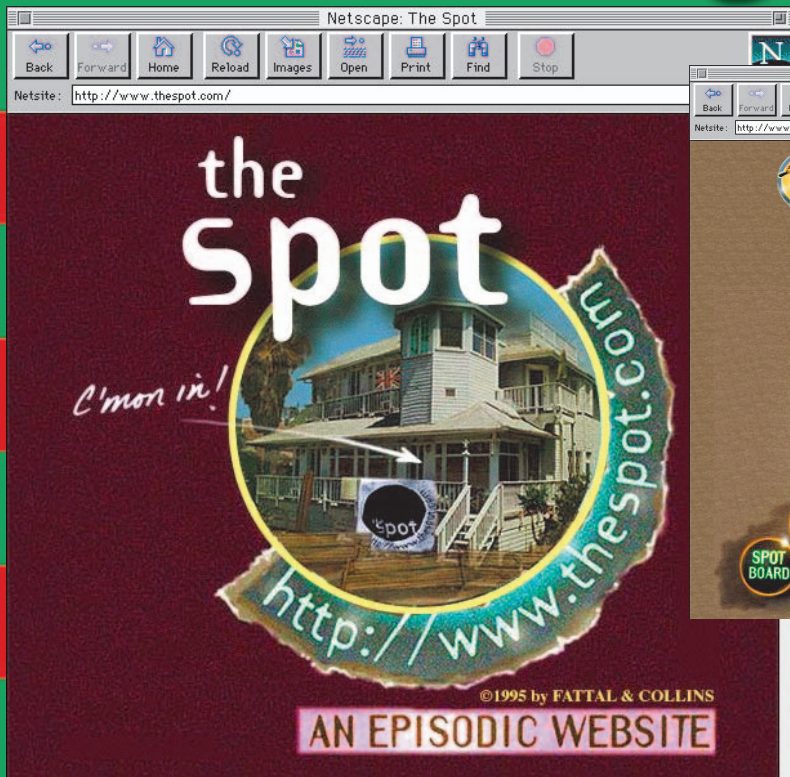




今泉 洋の

What's Cool



インターネットに登場した青春ドラマのニューウェイブ The Spot

<http://www.thespot.com/>

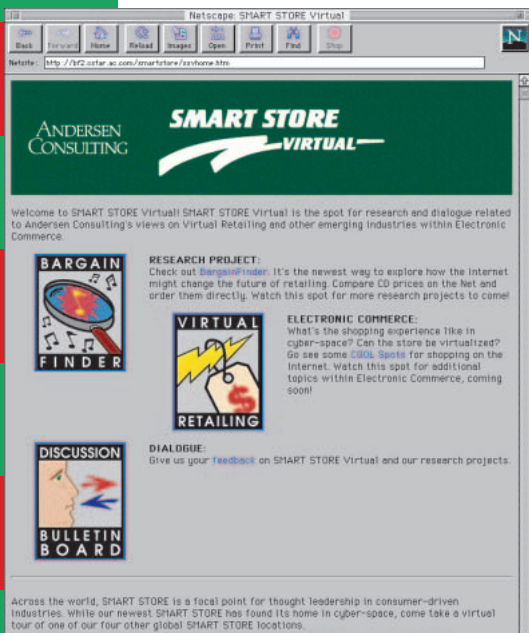
「ハリウッド青春白書」とか「メルローズ・プレイス」とか、こんなご時勢だからこそなのか、アメリカ方面では青春モノのTVドラマの人气が結構高い。日本にもファンが増えつつあるようだ。そんな勢いがインターネットにも波及して、いろんなホームページやニュースグループが続出しているのはご存じのとおりだが、ついにはオリジナルの青春ドラマがウェブで始まってしまい、評判を呼

んでいる。
ハリウッド目指す役者のタマゴたち男女5人(+犬1匹)の共同生活をおくる場所……そこが「The Spot」。なんだか絵に描いたような(そりゃ当然だが、しかしヘンなリアリティーもある)彼らの生活の様子が、毎日のようにアップデートされる様子は、あたかも連続青春TVドラマ。しかもパーソナリティーごとに異なった視点からの物語を楽

しめるから、まるでインタラクティブ青春ドラマ。ファンレターも出せるし、ファン同士の伝言板も準備されていて、これを読むだけでもなかなか面白い。ビデオ・オン・デマンドとネットワークが結びつく時代には、こんな形のドラマが登場するのかもしれないと思わせる注目すべき試みだ。

I'm in the middle of hell. I am exactly the type of person who puts certain things (take finals, for example) until the last minute, until the pressure is really on. Instead of being smart and preparing all along, I have decided to pull all nighters until this week is over. Let see how I hold up.





お買い物ロボットでオンラインショッピング……の実験 BargainFinder

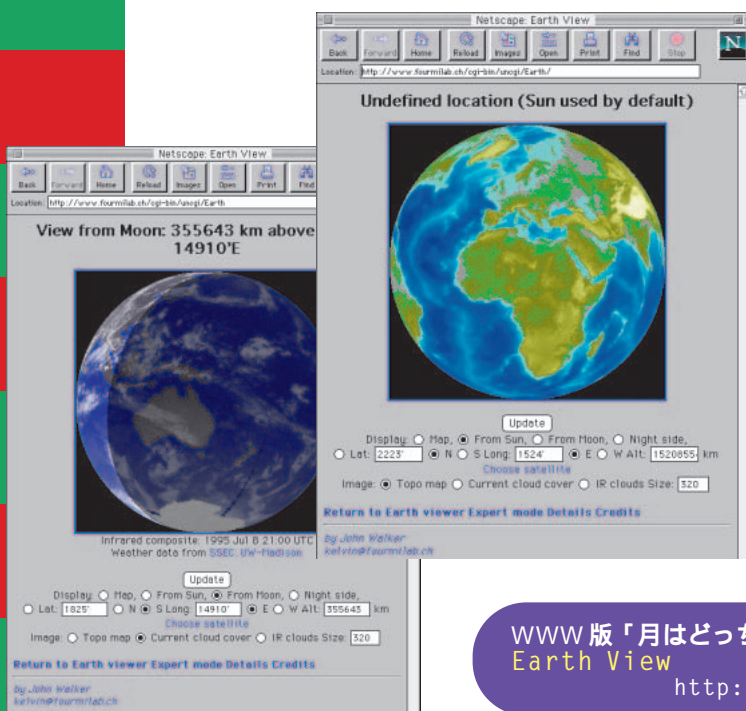
<http://smartstore.ac.com/smartstore/>

最近では日本でも「インターネットで商売」という掛け声が騒がしいが、セキュリティ問題もあってまだまだ道は遠いようだ。しかし、インターネット上のデータがセキュアに扱えるようになったとき、当然考えられるのがウェブを使ったオンラインショッピング。

きつといるんなお店がさまざまな品揃えと価格を競うエレクトロニックコマース（電子商取引）が実現されるに違いない……が、そうなったとき、目的の品物をいちいちチェックしていたのではキリがない、と考える人はすでにいた。アンダーセン・コンサルティング

グが行なっているこの共同実験のホームページでは、ロボット（いわゆるインテリジェントエージェント）がユーザーに代ってインターネット上のオンラインストアに出かけて行って、指定されたCDの値段を調べ、それぞれの店の価格一覧を見せてくれる。ご主人さ

まは、リストの中で最も安くて速いお店のボタンを押せば良い……というふうにはいかないのだが、残念ながら店の入口でロボットを追い返すお店もあって、現実には楽じゃない。



ホームページにアクセスしたその時の地球の模様を俯瞰できるサービス。国内でも同種のホームページを見かけたことがあるが、こちらはその時の月の位置から地球を見ることができるといふあたり、ひねりがきいてオシャレな気分だ。球形あるいはメルカトル図法による地球の姿を地上1億5000万キロメートル上空の衛星軌道上の太陽の方向、月の方向、夜の地域（太陽とは反対側）といった方向から見ることができるといふ方向から見ることもできるほか、任意の緯度・経度を指定することも可能だ。さらに3時間ごとに更新される実際の雲の模様や赤外線写真をオーバ

ーラップすることもできる。もっとも興味深いのは、提供される画像がすべてウェブ上で公開されているリソースをもとにして構成されている点。ウェブ上にもっと多くのリアルタイム情報が公開され、自由にアレンジできるようになれば、ちょっとしたアイデアをきっかけにして、さらにいろんなサービスが提供されるようになるかもしれない（もちろんそれなりのウデは必要だが）。こうしたシステムが形成されることを期待したいものである。

WWW版「月はどっちに出ている？」 Earth View

<http://www.fourmilab.ch/cgi-bin/uncgi/Earth/>



タダ（同然）で手に入るものを集めたお得なガイドページ
Free STUFF!
<http://www.getnet.com/~xinh/freestuff.html>

モノへの執着こそが資本主義社会の原動力かどうかは別にして、移民の国アメリカでは同じ「Free」で表現される「自由」と「無料」は正当化されるべき響きを持っている。フリーの名のもとに大量のサンプルがばらまかれる大衆消

費社会も、地球環境問題を考えると、この先無責任に喜んでいられなくなってしまうことは明らかだが……。とにかくそんなタダモノを狙うニュースグループ「alt.consumers.free-stuff」をベースに作られたのがこのホームページだ。

ポーツ関係、ニュースレター、雑誌、旅行関係の資料などのJunkのがずがず。さらにファミリー向け、教師向けなどと親切にもカテゴリが分けられている。

無料電話、メール、ネット経由でアクセスできる商品サンプルやプレミアムグッズなどお得な情報を集めてある。無料で提供されるのはディスク、マルチメディアCD、ス

ちょっと問題なのは、このページでお知らせされるサービスのほとんどが米国在住の人を対象にしていること。とにかく「アメリカの古き良き夢」を懐かしみながら、ダメモトで最後のフリーライドを楽しんでみる？



日本の生んだ世界最大（確かに大きい）の映画スター、ゴジラのホームページだ。最新作のあらすじと情報（本家日本制作のものだけでなく、アメリカで計画中の新作についてもカバー）をはじめとして、簡単な解説とページオーナーによるレーティングの付いたゴジラ映画年表、

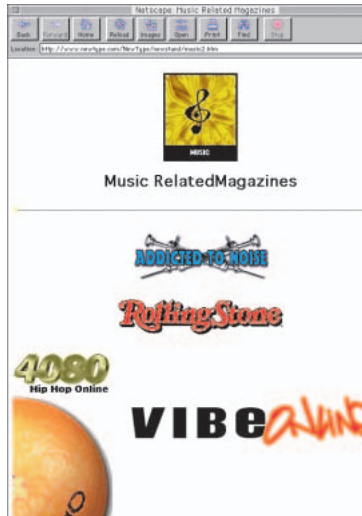
過去の作品の売り上げ記録、ゴジラの戦闘シーンや映画ポスターなどのイメージ、脳役怪獣リスト、リモコンゴジラ（コレクターズアイテム？）やゴジラの対戦成績、その他怪獣映画、特撮、映画にからんだキャラクター玩具などへのリンクも用意されているという充実ぶり。その筋のファンは狂

喜乱舞するに違いない。ただし、「最大」をうたうだけあって、このホームページでもかいた（ページでほぼすべてのインデックスをカバーする巨大なファイルになっている）ので、アクセスするときは回線の空いている時間を選ぼう。

ゴジラ並みの迫力
Mel's Godzilla Page
<http://www.ama.caltech.edu/~mrm/godzilla.html>

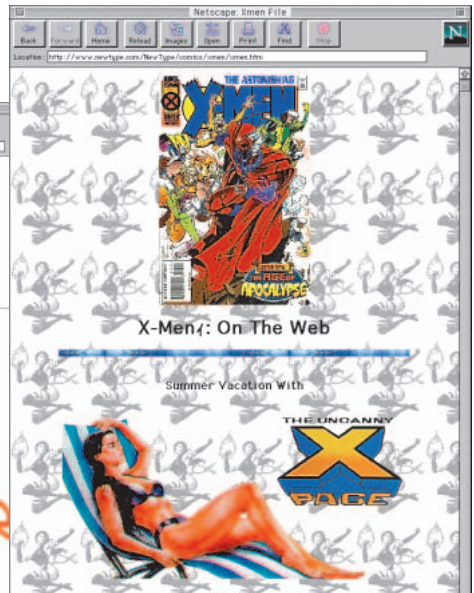


今年の5月に創刊された新世代ビデオゲームを中心としたE-Zineのホームページ。といっても一部のニュースやレポートなどを除いて、主にゲームやバーチャルリアリティー、コミック関連（日本のコミックもあるが、著作権は大丈夫なのか、ちょっと心配）のホー



ムページへのリンクを集めたものという性格が強い。実際この会社、サーファーはいてもライターが不足しているようで、つい先日までライター募集のコンテストを実施していた。

ゲームやVR関連ではハードメーカーからソフト会社、大学まで、



ありとあらゆるリソースへのリンク（しかもなかなか鋭いチョイス）が用意されているので、興味のある人ならまずここを起点にウェブ探検を始めてみるのがよいだろう。またゲーム関連にとどまらず、音楽、ファッション、写真、映画、小説といったポップカルチャー関

係のホームページへのリンクも充実しており、日本のマスコミではちょっと目にするのできかない最新のムーブメントへアクセスできる。リンクポイントがすべてリンク先のロゴイメージになっているので、ブラウズも楽しい。

ゲームのみならず新しいライフスタイルをリンクするホームページ

NewType Gaming Magazine On-Line

<http://Web.Actwin.Com/NewType/>

90年代後半の花形職業はこちら？

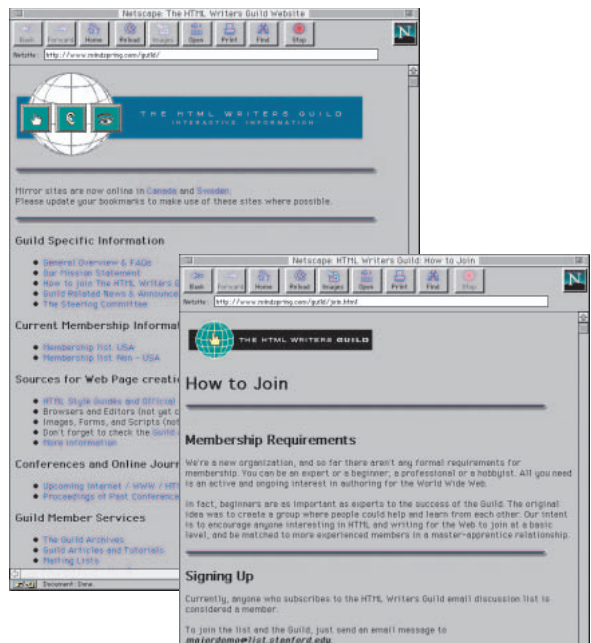
The HTML Writers Guild Homepage

<http://www.mindspring.com/guild/>

「ギルド」という言葉には何か閉鎖的で危なそうな印象があるし、暗い秘密の響きがある。もともとは、中世のヨーロッパで技術の独占のため、親方・職人・徒弟で組織した同業者の自治団体のことで、なんでもフリーメイソンも石大工のギルドだったらしい。そして20世紀末のいま、新しい世界的規模のギルドが生まれた。なんていうとちょっとおどろおどろしいが、このページは今年の1月に創立されたHTMLライターの団体のホームページだ。オープンでグローバルなインターネットの上にギルドが登場するというのはなんとなく不思議な感じもするが

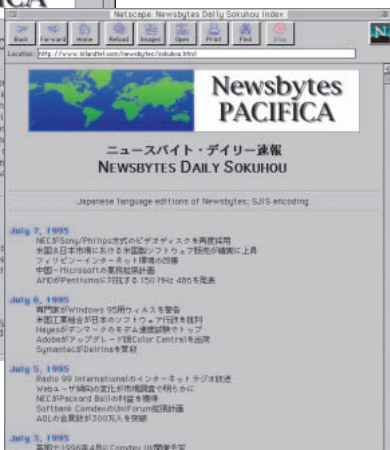
技術を通じてつながるプロフェッショナルたちの互助組織という明るい面を見れば納得できないわけでもない。

加入しているのはWWW上の出版やカタログ、ニュースレター制作に携わる人々で、一流プロからノビスまでさまざま。HTMLデザイナーとして知っておくべき情報の提供やニュース、リファレンス、会議などのお知らせが掲載されている。現在のところメンバーは世界40か国で1000人以上。まだ日本からの加入者はいないようなので、不況で就職難の今、狙い目かもしれない。





あの Newsbytes の速報が日本語で読める
Newsbytes Pacifica
<http://www.islandtel.com/newsbytes/sokuhou.html>



コンピュータおよび通信業界人御用達のニュースワイアサービスとして定評のあるNewsbytes。日本でもその情報の一部がニュースグループで提供されているので定期的にチェックしている人も多いかもしれないが、このページはその一部をダイジェストしてウェブで公開しているもの。
 内容は、毎日の業界関連のニュースをまとめた「Daily Summary」、一週間のニュースをレビューする「Week in Review」、日本関係のニュースをまとめた「Japan Newsbriefs」、インター

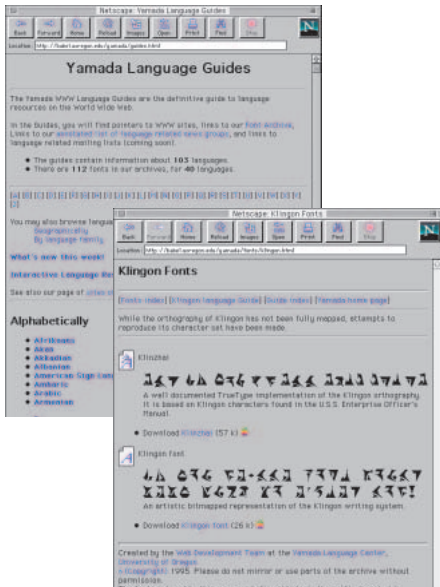
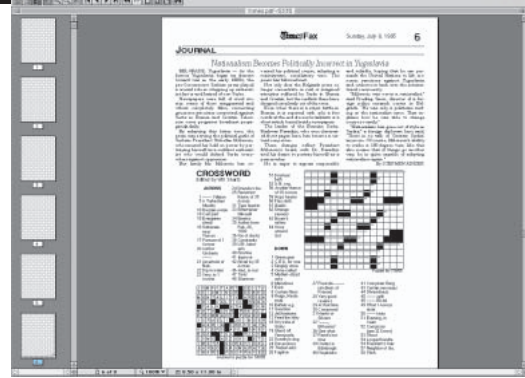
ネット関連の話題や注目すべき新しいホームページを紹介する「Internet Update」などだが、特に画像ファイルを収めた「Newspix」では、テキスト情報に偏っている現在のニュースワイアの欠点を補ってあまりある。また、当日のトップストーリーを日本語化した「Newsbytes Daily Sokuhou」(過去のものについてもインデックスあり)は英語の苦手な人向けのサービス。こちら方面に興味のある人なら、とりあえずブックマークを付けておくべきホームページだ。

Web ブラウザーに慣れた目で見ると新鮮な New York Times の新聞紙面
TimesFax
<http://nytimesfax.com/>

世界でも最も知られた新聞の一つであるNew York TimesのFAX版がウェブで提供されている。もちろん1日に一度発行されるもので、当日のトップニュースをフィーチャーしたフロントページから、国際、国内、ビジネス、定評のあるクロスワードパズル、スポーツ、コメンタリーといった全8ページの構成。
 面白いのが、ネットスケープな

普通のウェブのブラウザを使うのではなく、アドビ社の「Acrobat」というディスプレイ言語を使った専用のブラウザを使うことによって、いかにも新聞らしいリラックスの紙面で内容が読めること。ウェブのレイアウトに慣れた目には意外に新鮮！さらに拡大・縮小、検索もOKだ。
 購読するには名前やメールアドレスなどを一旦登録するほか、

Acrobatを自分のブラウザにヘルパーアプリケーションとしてインストールしておく必要がある。もちろんAcrobatを持っていないユーザーのためには、このホームページからアドビ社のホームページにリンクが張られており、簡単にダウンロードできる。さて、日本語のAcrobatなんてのは...
 ...??



オレゴン大学ヤマダ言語研究所のウェブサーバー。日本ではほとんど知られていない民族の言葉まで含めて、世界中103の言語のガイドが収められており、地理的あるいは言語系統別に言語の世界を体験することができる。
 例えば「Akan」という言語圏では、自分はなんという名前にな

るのか、また、その名前がどう発音されるのかまでが分かってしまう(じつは、彼らの世界では人の名前は生まれた月日で決まるので、実際に日本の名前がそのまま変換されるわけではないのだが...)。
 素晴らしいのは、40の言語圏に112のフォントがストックされ

ていること。特に「指輪物語」などで知られるトルキンの創作した言語やトレッキーには馴染みの深いクリンゴン語のフォントなど架空の言語用のフォントも、きちんと文献をもとに再現(創作?)され、用意されている。ダウンロードして暗号文みたいにして使ってみるのも楽しいかもしれない。

クリンゴンやトルキンのフォントまでカバーした世界の言語ページ
Yamada Language Guides
<http://babel.uoregon.edu/yamada/guides.html>



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp